

福音弘布の祈祷文

※(司祭、輔祭、伝教者等、教役者が用いる祈祷文。)

司(伝) 凡の人の救の為に己の生命を棄て給いし主よ、爾は刈り入れ主として、爾の刈り入れ場に多くの働き人を遣し、既に遣されし者には祈祷の心、爾を愛する心と忍耐と明哲の心を與え、爾の福音の行わるるが為、彼等に多くの力を授けて、福音を傳えしめ給え、願くは慈善を為す愛の行にて、我等を助けん事を熱望する輩の望をして益々增長し堅固ならしめん事を、願くは我等に援助を與うる者の益々増加せん事を、我等に善を為す者には爾の祝福を以て之に報い給え、今生存する者には壯健と幸福とを賜い、既に此の世を去りし者をば爾の諸聖人と共に永遠の住所に安置せしめ、我等を憎み、我等を恼ます者を赦し給え、仁慈なる主よ、我等の心を照し、彼等の智恵を聴くし給え、爾の血にて贖われし

我等衆人、既に爾を認むる者、及び未だ爾を認めざる者にも、爾の聖福音を悟る光を賜い、速に衆人を召して、地上に於ける爾の羊の群に併わせて、一と成らしめ、彼等をして爾の父、我等の神の光栄の中に在りて、世世に爾と離れずに居らしめ給え、爾と爾の父と聖神に、光栄と權柄とは世世に帰す。アミン。

※(ペルムの聖ステファンの祈祷。右の祈祷に添えて唱える。)

司(伝) 主宰全能の主よ、我が祈祷を聞き入れ、我が願いを成就し、我爾の卑しき僕をして此の不信なる人々の間に爾の聖なる名を傳えしめ、我を助くる者と成し給え、蓋爾欲する所は悉く為し、能わざる事なし、石の中よりもアウラアムの子を起すを為し給う、此等の異邦人を召して、爾の真理を悟らしめ、爾の聖なる教会に受け入れさせ給え。アミン。